

健康交差点

企画：日本医師会
No. 7

おふくろへの感謝状(その1)

KONISHIKI (タレント・元大関)

若

いころのおふくろは、苦勞の連続だった。サモアからハワイに移住してきたおふくろは、

英語も十分に話せず、そのうえ、文字どおりの「貧乏人の子だく

さん(男五人、女五人)」。トイレもシャワーもない、雨もりの

する小さなオンボロ家の一室で、家族が折り重なるように寝起き

していた。食事はもちろん、買物や映画も民族大移動

のように、家族全員がゾロゾロと一緒にだった。父親が

仕事で留守がちだったので、いつも、おふくろを中心に、

家族がひとつになっただけで行動していた。おかげで

家族の絆は強くなり、今でも、それは変わらない。

貧しい生活のなか、おふくろは子どもたちのため

に骨身をおしまず働いてくれた。朝早くから夜遅く

まで働きづめで、今考えても、よく体をこわさなか

ったと思う。短気で厳しいけれど、陽気で太っ腹

な肝っ玉かあさん、そんなおふくろの働く姿は、

まるで神様のように見えた。やがて、「いつか

楽にしてあげたい」という夢をもつようになって

った。(談)



かかりつけ医をもちましょう

診察室から

風邪や腹痛などの比較的軽い病気でも、大病院にかかると大勢います。おそらく、「もし重い病気だったら大変」という不安があるからでしょう。

でも、それでは大病院の専門の医師が果たすべき役割が麻痺してしまいます。専門の医師にかかるか、入院する必要のある重い病気であるかどうかの判断は、かかりつけ医に相談するのが一番です。

普段から何でも気軽に相談のできる、かかりつけ医をぜひもちましょう。

「不明な点は、お気軽におたずねください。」

待合室に掲示し、患者さんにお見せください。

日本医師会「健康交差点」

〒113-8621 東京都文京区本駒込 2-28-16
Fax: 03-3946-6295 E-Mail: kousaten@po.med.or.jp

健康交差点では、皆さんからのご意見・ご要望をお待ちしています。
日本医師会ホームページでもご覧いただけます。
<http://www.med.or.jp/kousaten/>